

## 7月20日のウクライナ情報

安齋育郎

### ●2014年、ウクライナにアメリカの傀儡政権を樹立させたバイデンと「クッキーを配るヌーランド」(再録)

遠藤誉(中国問題グローバル研究所所長、筑波大学名誉教授、2022年5月1日)

<https://news.yahoo.co.jp/byline/endohomare/20220501-00294078>

### ●2014年のウクライナ・クーデターにおけるアメリカの役割(2022年7月13日)

ロシア外交官、2014年のウクライナ・クーデターにおけるアメリカの役割を認めるよう促す。

ドミトリー・ポリアンスキーが指摘したように、「これは誰にとっても秘密ではない」

【7月13日、ニューヨーク/TASS/】アメリカ合州国が、ウクライナにおける2014年の国家クーデターにおける自らの役割を認識する時が来たと、ロシアのドミトリー・ポリアンスキー国連第一副常任代表は水曜日に述べた。

「アメリカがベネズエラ大統領を打倒しようとしたのは周知の事実だ。今、2014年のウクライナでの違法なマイダン・クーデターにおけるアメリカの中心的な役割の認識を待っているが、これも公然の秘密だ」と、ロシア外交官はツイッターに書き込み、海外でのクーデターの遂行への参加に関する元ホワイトハウス高官の発言にコメントした。

火曜日、元ホワイトハウス国家安全保障顧問のジョン・ボルトンは、「クーデター計画を手伝ってきた者として - ここではないが、他の場所では知っている - それは多くの作業を必要とする」と述べた。

#### 2014年ウクライナ・クーデター

キエフ中心部の騒乱は2013年末に勃発した。キエフの独立広場での抗議行動の主催者は、当時のヴィクトル・ヤヌコーヴィチ大統領が欧州連合との連合協定に署名することを拒否したと非難した。ユーロマイダンと呼ばれる抗議の長期にわたる大衆デモが始まった。過激派はテントキャンプを設置し、キエフ中心部の多くの行政ビルを押収し、いわゆる「自衛隊」を創設し、公然と警察と衝突した。

危機は2014年2月18日から20日にかけてキエフで最高潮に達し、正体不明の狙撃兵がデモ隊と警察の両方に繰り返し発砲した。その結果、80人が死亡し、数百人が負傷した。負傷者のうち20人は後に病院で死亡した。殺害された人びとの中には、デモ参加者と機動隊ベルクートの職員のものもいた。

ヤヌコーヴィチとニコライ・アザロフ率いる閣僚の内閣は、後にウクライナを去った。キエフの権力が交代すると、検事総長室は、民間人大量殺戮の容疑でヤヌコーヴィチに対する刑事訴訟を開始した。ウクライナ当局は、ベルクート要員に責任の一部を負わせた。特に、警察は武器を使用するための刑事命令に従ったとして起訴されている。被告はすべての容疑で無罪を誓った。同時に、警察に対する犯罪は調査されず、狙撃兵事件は未解決のままだ。

### ●ウクライナ軍の軍人親族が抗議行動(2022年7月15日)

リヴィウのウクライナ軍第24旅団の軍人の親族がウクライナ司令部の責任追及を求める。ウクライナ軍の指導者が部下の命や健康を軽視していること、近代的な兵器がなく戦車や飛行機に対してマシンガンだけで行軍しなければならなかったことなどを非難、また、安否の問い合わせには「行方不明」という文章だけが送られ続けたことも非難している。

## ●ロシアと LNR(ルハンスク人民共和国)の法的枠組み(2022年7月15日)

ヴァチエスラフ・ヴォロージン(ヴォロディン)はロシアとルハンスク人民共和国の統一された法的枠組みを作ることが重要であると述べた。

「私たちにとって重要なのは医療、教育、公共事業、市民の社会的保護の分野において法律を調和させ単一の法的領域を作り出すことです」

※安齋注:ヴォロージンはロシア連邦の政治家、法律学者で、これまで、大統領府第一副長官、副首相兼官房長官、統一ロシア総評議会総書記、国家院副議長などを歴任し、現在、国家院議長を務めている重要人物。本件に関連するニュースは「夏休みの過ごし方」という形ですすでに紹介しました。

## ●リシチャンスク近郊のウクライナ軍放棄地で大麻栽培地を発見(2022年7月15日)

[https://twitter.com/morpheus7701/status/1547878481115348992?s=20&t=bcdZg5nM9rr6\\_TpRIRcPA](https://twitter.com/morpheus7701/status/1547878481115348992?s=20&t=bcdZg5nM9rr6_TpRIRcPA)

※安齋注:ウクライナは戦争状態の下で警察などの監視の目が届きにくくなり、麻薬の密造が格段に増えている。

## ●ウクライナ、スヴェトロダルスク住民の反応(2022年7月13日)

[https://twitter.com/matatabi\\_catnip/status/1547365337791873024?s=20&t=qNmd33U00i\\_L8oa3aWmwNQ](https://twitter.com/matatabi_catnip/status/1547365337791873024?s=20&t=qNmd33U00i_L8oa3aWmwNQ)

## ●硝酸アンモニウム工場へのウクライナ軍の砲撃(2022年7月13日)

<https://twitter.com/morpheus7701/status/1547444754727972865?s=20&t=BvfrNztu92DLBhEZkXsMeg>

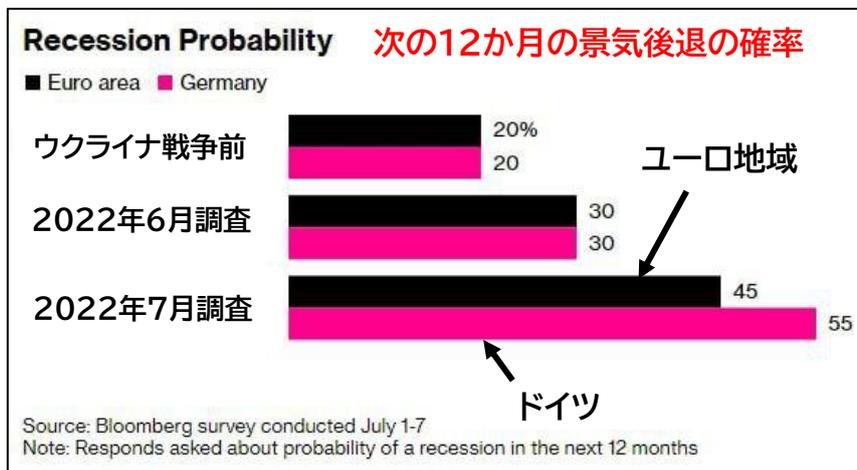
## ●ドイツがロシアからのエネルギー資源を手放す計画(2022年7月14日)

ドイツのイェルク・クキス財務副大臣の発表によれば、ドイツは8月をもってロシアからの石炭購入を完全に停止し、12月31日をもってロシアの石油を手放すという。これに先立ち連邦議会は、ロシアからのエネルギー資源の禁輸がドイツ経済に「壊滅的な」影響を及ぼすとの予測を行なったばかり。



## ●景気後退の可能性の予測(2022年7月15日)

[https://twitter.com/morpheus7701/status/1547796340628807685?s=20&t=GvqBevTWuwsr7hyjrSs\\_NA](https://twitter.com/morpheus7701/status/1547796340628807685?s=20&t=GvqBevTWuwsr7hyjrSs_NA)



ドイツはロシアのガスへの依存度を下げる事を目指しているが困難である。EU は新たな制裁パッケージにガス禁輸を含めない事を明らかにした。

アメリカもこの 2 ヶ月で同国の戦略石油備蓄の約 20%を取り崩したと伝えられ、現在の重油量は 1985 年夏以来の低水準にあるという。

### ●ブラジルがロシア産の安価な軽油を取得間近(2022年7月13日)

[https://twitter.com/riru\\_riru34/status/1547206268137656321?s=20&t=nydxcpxV\\_Li08z\\_OkHd3Q](https://twitter.com/riru_riru34/status/1547206268137656321?s=20&t=nydxcpxV_Li08z_OkHd3Q)

※安齋注:ブラジルはロシアとは BRICs 仲間だが、外交関係を築いているものの、貿易相手としてのロシアは上位 10 国にも入っていなかった。ロシアはブラジルが必要とする肥料を輸出しているが、現時点ではそれ以上の二国間協定などを結ぶ予定はないと伝えられていた。

一方、キューバがロシア産石油の輸入枠を拡大し、制裁下での受け皿になりつつある。

また、ロシアのヴェルシーニン外務次官は、「2030 年に向けた持続可能な開発に関するハイレベル政治フォーラム:危機対策と挑戦の克服」において、「ロシアは食料・肥料の輸出量を大幅に増加することができる。その上で、アフリカ諸国と中東への供給を行い、飢餓問題の解決を支援する。これに向けて、国連事務局と協力していく」と述べている。

### ●アゾフの住民への接し方(2022年7月16日)

マリウポリの住民がアゾフ大隊が一般市民を家から追い出した事実を語る。

<https://youtu.be/QjsmqAcCJ4w>

### ●ハリキウでのロシア軍の態度(2022年7月16日)

ハリキウ(ハリコフ)州のクピャンスク市長はロシア軍の兵士の態度を褒めた。

<https://youtu.be/kpQWdy9aip4>

### ●まだ「ブチャの真実」を信じきれない人へ(2022年5月24日)

M.Y.ガルージン駐日ロシア大使曰く、「毎日新聞は、5 月 13 日付の記事でブチャでの出来事の責任をロシアに転嫁しようとしたが、むだである。衛星画像やそこに記された日付をいくら操作しようとも、これまでにロシア側が何度も説明してきた“民間人殺害にロシアの軍人は関与していない”という明白な事実は変わらない。この犯罪の責任がウクライナ政府にあることを明確に示す以下の資料をご覧ください。なることをお勧めする」。

<https://rumble.com/v15w6w9-20224.html>

## ●誤爆の証拠消し(2022年7月18日投稿)

ヴァインニツァでウクライナの兵士が金属片を急いで片付けている。ロシアの SNS 上ではウクライナ軍が撃った「防空ミサイルの破片」とのこと。目標を外れて着弾したことを隠蔽するための措置らしい。

<https://twitter.com/i/status/1548901160198672384>

## ●ドネツク住民が語る「郷土愛」(2022年7月18日)

それでもドネツクに残る。

<https://youtu.be/g3yJyRuv45E>

## ●トルコは依然スウェーデンとフィンランドの NATO 加盟を凍結(2022年7月19日)

トルコのエルドアン大統領は 18 日、スウェーデンとフィンランドの北大西洋条約機構(NATO)加盟を巡り、両国がテロ対策強化などの約束を守らない場合は「(加盟手続きを)凍結する」と警告した。特にスウェーデンについては「いい印象」がないと述べた。

ロシア軍によるウクライナ侵攻を受け、北欧 2 国はロシアの脅威に対応するため、NATO 加盟を申請。トルコは 6 月下旬、2 国が武装組織「クルド労働者党」(PKK)関係者らを引き渡すことや、トルコへの武器禁輸の解除に取り組むことを条件に NATO 加盟を認めた。2 国が正式加盟するためには全加盟国の批准が必要で、エルドアン氏はトルコの批准手続きを停止する可能性を示唆した形だ。

スウェーデンのアンデション首相は 6 月 29 日、PKK 関係者らの引き渡しについて「国内法と国際協定にのっとなって対応する」と述べている。【ワールド・ニュース、エルサレム三木幸治】

19 Jul, 2022 00:32 / Home / World News

### Turkey may still 'freeze' NATO expansion – Erdogan

Finland and Sweden must fulfill Ankara's conditions before becoming members, President Erdogan warned



Turkish President Recep Tayyip Erdogan warned Sweden and Finland on Monday that Ankara may still "freeze" their membership in NATO if Helsinki and Stockholm fall short of last month's agreement. The two Scandinavian countries had promised they would take specific steps in order to overcome Turkey's objections.

"I want to reiterate once again that we will freeze the process if these countries do not take the necessary steps to fulfill our conditions," Erdogan told reporters. "Our stance on this issue is very clear. The rest is up to them."

FILE PHOTO: Turkish President Recep Tayyip Erdogan speaks during a media conference at a NATO summit in Madrid, Spain, June 30, 2022 © AP / Manu Fernandez

"Sweden in particular does not have a good image on this issue," he added.

## ●バイデン大統領(79歳)は持ち堪えられるか？

飛行機に乗るときにバイデン大統領が3度連続で転んだ映像を前に紹介しましたが、それにいたずらを付け加えた人がいた。

<https://twitter.com/i/status/1549253739772424193>